



活躍の現場から



JET 参加者とともに、地域づくり・人づくり —— 富山県生活環境文化部国際課

はじめに

富山県では、「グローバル社会における地域づくり、人づくり」を推進するため、多文化が共生する地域づくりやグローバルに活躍する人材の獲得・育成を目指しています。その実現のためには、JET プログラムで招致している外国語指導助手（ALT）や国際交流員（CIR）の存在が欠かせないものとなっています。

富山県では、1989年度に英語圏 CIR を招致して以来、現在では、友好提携関係にある国・地域の外国青年を中心に、7 カ国 8 名（アメリカ、中国・遼寧省、中国・上海市、ブラジル、韓国、ロシア、インド・アンドラプラデシュ州、ベトナム）の CIR を任用しています。

各 CIR には、各国・地域との国際交流事業において、事業計画の立案から実施、各政府・団体との連絡調整に至るまで、全てにおいて主体的に参加してもらっています。当該国・地域の出身であるからこそ、日本人ではなかなか理解できない習慣や考え方の違いを理解した上で、現地の人脈などを生かして、より強固な友好関係を築くことができています。

富山の魅力を世界に発信

富山県の魅力を各国・地域の方々に伝えるために、Instagram や Facebook などを利用して言語別の国際交流員公式 SNS を立ち上げ、富山県の観光名所やイベント情報について発信しています。韓国語では、「NAVER ブログ」でも情報発信をするなど、各国・地域の人々の SNS 利用実態に合わせた工夫をしています。「旅行の参考になった」「母国語で相談ができてうれしい」などの反応が返ってきています。今は新型コロナウイルス感染症の影響で自由に往来できませんが、こんな時だからこそ、富山県の魅力を多くの外国人たちに伝え、コロナ収束後のインバウンドなどに期待したいと思います。



ポルトガル語 Facebook Toyama News BR

言語と文化を県民に紹介

県職員向けに CIR 全員が講師となり、語学講座を年間 20 回実施しており、ベトナム語では県警の通訳人、ポルトガル語ではブラジル人児童の通う学校の先生なども受講しています。2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、Zoom によるオンライン講座（一部ビデオや添削による講座）を試行したところ、「今までは遠くて通えなかったのがオンラインの方が受講しやすい」といった反応をいただけたので、今年度もオンライン講座で実施しています。

また、（公財）とやま国際センターにおいて、県民向けの語学講座も実施しています。インド CIR は、「ナマステ・インディア」というインド理解講座を担当し、設定したテーマについて、英語でインド事情を紹介した後、テーマについて英語で参加者とディスカッションをします。インドについて理解できるだけでなく、英語力も磨くことができる場所として、幅広い世代の県民に人気があります。

学校などの依頼により、国際理解講座の講師を務め、児童・生徒などに各国の言語・文化を紹介しています。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、対面での講座実施を不安に思う学校もあるため、オンラインでの実施や、講座動画の提供など、新たな取り組みにも挑戦しています。講座動画の作成は、自分の講座を客観的に評



ナマステ・インディア（ヨガ体験）



Where is Texas?



国際理解講座の動画作成

価したり、ほかの CIR の講座を見て自分の講座を改善するきっかけになったりするなど、CIR の研修にも繋がっています。

ほかの JET 参加者と協力して

富山県内には、県所属以外にも、3 市 1 町に英語圏 CIR が配置されていますが、月に 1 回、それらの CIR と一緒に定例会を行っています。それぞれの自治体での取り組みを紹介したり、時には仕事上の悩みなどを相談したりしています。県の CIR は県内各地域の情報にも詳しくなる必要があるので、情報交換の場としてとても役立っています。定例会では、県内視察研修も実施しており、視察した自治体の観光施設などについて、外国人の視点からアドバイスを行っています。

毎年 2 月に CIR が実行委員となり、ALT とも協力して、国際交流イベント「JET 世界まつり」を開催しています。今年の JET 世界まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、いつも人気のステージパフォーマンス、カフェなどは実施せず、出身国について紹介する国際理解セミナー（JET Talks）や異文化体験コーナー

を中心に企画しました。また、集客を分散するため、県内 4 地区での実施に変更しました。参加者の人数制限を行ったり、オンライン受付を導入したりするなど、例年通りが通用しない中で、イベントを 4 回も実施することになり、CIR にとっても大きな負担になったと思いますが、「外国へなかなか行けない中で、海外旅行をしている気分になれた」「コロナ禍でもイベントを開催してくれて感謝します」といった嬉しい反応をいただき、参加者にとっても CIR や ALT にとっても満足度の高いイベントになりました。

ちなみに、富山県は元 JET 参加者の都道府県別 Facebook 上のグループ「KenJETkai」の登録者数が約 600 名で 1 位（2021 年 4 月現在）を誇っています。CIR と ALT が協力してイベントを実施するなど、JET 参加者同士の絆が深いことも一因だと思います。



スタッフ(ALT、CIR)で記念撮影(JET 世界まつり 2021in 富山)

おわりに

国際交流を中心に紹介してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、在住外国人向けの情報の翻訳や生活相談、県警の通訳人研修など、多文化共生の面でも CIR の役割はますます重要なものとなっています。ALT を含めた JET 参加者たちにその能力を遺憾なく発揮してもらうことで、「グローバル社会における地域づくり、人づくり」が実現するものと期待しています。

(参考) 富山県国際交流員ブログ <https://toyamacir.net/>



富山県警察通訳人研修会

